とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年1月15日（木）
クラス名（年齢）	ことり組（1歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

氷に触ってみよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・園庭に霜柱ができており、子ども達と一緒に踏んだり、触ったりして楽しんだのでその後氷づくりをしてみることにした

2、活動スケジュール

・カップに水を入れて園庭の木陰に置き、様子を見て氷になる日を待つ

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・霜柱を見たり触れたりして、寒さを感じたりする
・透明のカップを用意して木陰に置き、冷たさなどを感じながら氷ができるまでを楽しむ

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・園庭で遊ぶ時に霜柱があることを知らせたり、踏むと「サクサク」などと音がするので不思議そうにしながらも見て、触れて楽しだので、カップに水を入れて氷を作ってみる。一度氷に触れて遊んでみると子ども達も興味を持ち、一緒に水を入れたりカップを置き、できる日を楽しみに待ちながら氷ができる、できない様子を確かめられるようにする。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・園庭に行き、霜柱で砂が盛り上がっているところを見つけて「お山があるね」と言葉を掛けると興味を持ち、保育者の真似をして「サクサク」などと言いながら指でつついたり砂を手に取ってみる。 ・実際に手に取ってみるといつもと変わらない砂で不思議そうにしながらも何度も触れてみる。 ・カップの水が氷になっているか確認すると「氷」「つめたいね」と言いながらカップに指を入れて触れてみる。 ・保育者が手に取って氷を見せると「ぴかぴか」「きらきらできれい」など興味を持ち、上に持ち上げて光に当たって光る様子を見て楽しむ。 ・友達の「きらきら」の声に反応して「きらきら星」を歌ったり、眼鏡のようにして氷越しに覗き込んだりして楽しむ。 ・氷を取り出したカップの水に触れて冷たいことに気が付き、友達と一緒に触れて楽しむ。 ・手に持っていると小さくなって溶けていく様子を見て「ばいばい」と言って残念そうにしていたので、再び木陰に置き、新しい氷ができるまでを楽しみにする。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・寒さや水の冷たさなど冬を感じる中、霜柱に触れてその感触や音などいつもの地面との違いを感じることができた。氷作りも自ら氷への変化を実際に容器に入れ、次の日はどうなっているかを体験していくとちゃんと前日のことを覚えていて「あったね」「なかったね」など変化をしっかり感じていて驚いた。寒い中でも氷に触れ、落として割れてしまうと残念そうにするなど興味を持って楽しんでいたので、日々カップの中を確認したり触れたりして遊びながら楽しんでいきたいと思う。